

私は北海道の札幌市から、このスウォンジー大学に留学してきた大村文希です。この大学に入学してから、丁度一年目が終わろうとしています。私は学位課程の古代史と中世史を勉強しています。



1. スウォンジーでの勉強

一年生での授業では、私のように古代と中世と言っても、もっと幅広い年代を勉強しました。私の場合は、古代ローマ、ギリシャから、中国インドを含めた近代史を勉強しました。このように、幅広い年代を勉強すると、自分の興味のある事柄が、時代とともに、文化によってどう変わっていったかが勉強でき、さらに興味がわいてきます。何よりもこの大学で歴史を勉強して良かったと思う事は、歴史とは何かという勉強ができたことです。この授業は一年生の必修授業で、この授業の結果、歴史という物語の本質を知ることができ、私の歴史に対する考え方も良い方向に変わりました。そして日本人である私から見た西洋の歴史観と、実際に歴史が作られたヨーロッパで勉強する歴史観の違いを感じ、その違いを感じることも面白いです。

歴史とは何年に何が起こったということを勉強するよりも、何かが起こった背景やその時代の文化を勉強することだと思います。ですから、一つの時代を勉強する時に、いつも同じ先生ではなく、各授業のテーマによって、それぞれの専門の先生が教えてくれます。例えば、同じ中世の、教会の歴史と軍隊の歴史では、教えてくださる先生が違います。ですから、各分野についてより専門的な勉強ができることにとても満足しています。

2. なぜスウォンジー大学を選らんだのですか？

日本で私が一年間通っていた語学学校の先生が、歴史を勉強するなら、とこの大学を勧めてくださったことがきっかけです。それから、この大学の先生が私の語学学校を訪れた時にお話を伺ったり、自分自身で情報収集をした結果、この大学は、勉強するのに環境・水準ともにとても良いと思ったからです。

3. スウォンジーの魅力

スウォンジーは、海に面した、緑溢れる美しい街です。大学も、スウォンジーベイという遠浅の海岸のすぐ前にあり、そして大学の横には、広大な公園があります。ですから、勉強に疲れた時は友達と、手軽に触れることのできる美しい自然の中でのんびりできるところがとても気に入っています。また、スウォンジーの人々はとても優しく、街や道端で会う知らない人でも、気軽に話せたり、道を尋ねたりしたときも、親切に教えてくれます。大学外での生活では、教会の牧師さん夫婦が毎週金曜日に開いている留学生の交流会には、現地人のボランティアの方々が多く参加して、私達留学生の日常会話英語向上に大活躍してくれています。私も毎週この会を楽しみながら、英会話力を改善しています。彼らは本当に親切で、勉強や、寮の悩みなども親身相談に乗ってくれます。私が思うに、スウォンジーには、留学生との関わりを楽しんでいる人が多いように思います。なので、とても生活しやすい街です。

4. 学生寮

スウォンジー大学は多くの寮を持っています。私の学位課程が始まる前の3ヶ月間の英語コースの間、大学が管理している生の一つである、ステューデント・ヴィレッジという所に住んでいました。ここは、その名の通り、広大な敷地に、沢山の学生寮が建てられている、'学生の村'のようなところですが、大学からは少し離れたところにありますが、自然に囲まれた綺麗な場所で、敷地内には、図書館、バー、コンビニエンスストアもあり、とても楽しく生活できました。他にもキャンパス内の寮や、街にある新しい寮もあります。大学内にある、学生寮を管理しているオフィスでは、寮以外にも、一般の人々が所有している家の紹介などもしてくれます。

5. 学位課程終了後の進路

私はこの学位課程を修了したら、修士課程に進み、歴史の勉強を続けたいと思います。

Visit www.swansea.ac.uk/humanities/Admissions/StudentPodcastsVideos/ to view a video of Ayaki